

NSW 州政府主催ウェビナー

「未来都市の今日:ブラッドフィールドと西部パークランドシティにおける事業機会」

日時:2021年10月8日(金) 豪州東部時間 9:30~14:30(日本時間 7:30~12:30)

概要:

西部パークランドシティ開発公社が、西シドニー開発の進捗状況に関するイベントを開催したところ、概要下記の通り。同ウェビナーでは、日本語のみ同時通訳が提供された。

1 冒頭挨拶

(1) サラ・ヒル西部パークランドシティ開発公社 CEO

本日のウェビナーには、国内外から1000人以上が参加。エアーズ大臣をはじめ地方自治体の代表者など多くの関係者が登壇。

(2) 先住民の土地であることの確認(アンクル・トニー・スコールス)

(3) スチュワート・エアーズ西シドニー大臣

ア 自分は西シドニー出身、同開発がもたらす経済成長の機会は西シドニー地区に大きな恩恵をもたらす。NSW州は先日、ワクチン接種率70%を達成した。80%、90%達成への道筋も見えており、世界的にも高い数値。西シドニー開発事業は、経済成長機会を創出し、新型コロナからの経済回復を後押しする。

イ 同地域へのインフラ整備には200億豪ドルが投じられる。100年程前にジョン・ブラッドフィールドが掲げたシドニーの鉄道事業ビジョンと同様のプロジェクトを、我々は西シドニーの土地にて実現する。

ウ 西シドニー都市協定(CITY DEAL)の下、地方自治体、州政府、連邦政府が連携している。例えばバティセビッチ・キャンベルタウン市長はレッドチーム(労働党支持)で自分はブルーチーム(自由党)だが、同枠組のもとで政治を超えた協力体制を築いている。

エ ブラッドフィールドはシドニー、パラマタと肩を並べる都市となるだろう。

(4) ジョージ・バティセビッチ西部パークランドシティ連合議長、キャンベルタウン市長

これまで3年間にわたり、連邦、州、地方自治体で協力してオーストラリア随一のベスト・コネクティッド・シティを実現すべく、インフラ整備やデジタル化の促進に取り組んできた。

2 セッション1:西部パークランドシティにおける投資機会

ジェニファー・ウエスタコット西部パークランドシティ開発公社会長(資料)

ア 80万ヘクタールの土地に広がる西部パークランドシティの特徴として、①自然(green):全体の3分の2が自然保護エリア、エネルギー効率の増加、②連結(connected):空港、メトロ、M12道路などの交通インフラ、ロジスティクスの充実③先進(advanced):先端製造業、教育、防衛、宇宙、サイバーセキュリティ、水素などの先進的事業機会がある。同地区は人口増加率が高く、若年層が占める割合が高いのも特徴。

イ ブラッドフィールドの先端製造研究所の建設が、2023年に開始予定。防衛や半導体などの分野におけるエピセンターに成長させたい。そのためには人材の確保、教育の充実が不可欠であり、NETMはその一環。

ウ 西部パークランドシティ開発公社の役割は、政府、教育機関、産業界の間に立ち、地域におけるエコシステムを創出すること。民間からの投資や企業貢献はエコシステムの原動力であり不可欠。州政府は企業参加を促進すべく、ジョブ・プラス・プログラムにて、税優遇や計画申請手続きの支援サービスなどを提供。

エ 同開発は、インド太平洋へ市場へのアクセス、スキル、インフラ整備がされている一方で既存の枠組み(レガシー)がない開発という意味で世界でも類を見ない、今後のオーストラリアの経済成長を担う。大学や教育機関との連携機会も豊富。エネルギー、住宅、ロジスティクス、製造、旅行、運輸、金融分野にとって、同地域への参加は大きな価値がある。

3 セッション2:新教育・訓練モデル(New Education and Training Model:NETM)

(1)ジェニファー・ウエスタコット西部パークランドシティ開発公社会長

企業にとってスキル人材の確保は最重要課題の一つであるが、常々企業から、的にあった(fits for purpose)、職業訓練専門学校(TAFE)と大学と中間の教育制度を求める声があがっていた。それを実現するのが新教育・訓練モデル(NETM)である。産業界主導の短期コースを展開。コースの設置は産業界からの要望を反映。

(2)ピーター・マッケイ西部パークランドシティ開発公社 NETM 部門長(資料)

ア NETM は、技術進歩・拡大によるスキルギャップを埋めるべく、産業界の希望に沿った内容の40時間の短期コース修了認定(マイクロ・クレデンシャル)を提供。パイロットモデルでは、4年間で3,740万豪ドルを投じ100の短期コースを設置。複数の修了認定を重ねて取得(stackable)できるのが特徴。当面は無料だが今後は変更となる可能性がある。

イ 関心のある企業は是非、必要な訓練を示した提案を提出して欲しい。また教育団体は、コース提供者としてパネルに登録申請を提出して欲しい。

(3) その他の登壇者

パネリスト: Dr Annis Chami (CEO, Vitex Pharmaceuticals), Mark Goodsell (Manufacturing Lead, Ai Group ; Joanna Kubota (Executive Director, Western Parkland Councils), Leon Drury (Executive Officer, Manufacturing Skills Australia), Daniella Mesa (Chief People Officer, BAE Systems Australia)

4 セッション3: アグリビジネス・運輸・ロジスティクス

(1) アリソン・ウェブスター 西シドニー空港会社 (WSA Co) WSI 貨物地区責任者

2026年の空港開設に向けて建設工事を進行中、将来的にはロサンゼルスやドバイに匹敵する規模に成長見込み。カンタス航空やヴァージン航空とMOUを締結、運航ルートについて協議中。空港内の貨物部門については、EOIを受付中。

(2) ジェームス・フィッシャー 西部パークランドシティ開発公社アグリビジネス部門責任者 ([資料](#))

本日発表のアグリプリシメント企画調査では、統合ロジスティクスハブ(ILH :Integrated Logistics Hub)コンセプト、オランダ、ベルギー、ドイツにおける貨物ハブの例を提示。24時間操業可能な空港にて、36時間以内に海外市場へ商品を提供すべくシームレスな運搬の実現を図る。サプライチェーンへの参加に関心のある企業を対象としたRFIの提出を12月まで受け付ける。

(3) スージー・ハーウッド NSW 交通局 運輸部門長

デジタル・コネクティビティの増加による効率性の向上、コスト削減が期待される。コスト削減によりプレミアム商品の市場拡大が狙える。

(4) ヴィッキー・フィッシャー 連邦農業・水資源省 バイオセキュリティ部門長

連邦政府としては、バイオセキュリティの遵守を徹底、国内への害虫や疫病の流入を防ぐのみならず、輸出相手国への要件を満たすことも徹底。

5 セッション4: 主要プロジェクトアップデート

(1) サイモン・ヒッキー 西シドニー空港会社 CEO

建設工事は順調に進行中、約30社の海外航空会社が参入関心を示している。エアカーゴ部門の関心表明 (EOI) プロセスが開始された。建設にあたっては労働力の50%を地元コミュニティから調達している。

(2) アンジェラ・ジェフリー・シドニーメトロ・西シドニー空港事業責任者

西シドニー空港メトロ建設事業の入札については、トンネル建設を始め、その他部門の調達についても順次進める。調達先の選定にあたっては、地元労働力の参加も重要な項目となる。

(3) アン・スキューズ西部パークランドシティ開発公社エアロポリス開発担当者

ブラッドフィールド・シティ・センター開発への NSW 州政府からの10億ドルの投資発表は開発に弾みをつけた。住宅開発、不動産、投資部門の企業からの事業参入関心の受付を開始する。

6 閉会挨拶

ジェニファー・ウエスタコット西部パークランドシティ開発公社会長

ブラッドフィールド市中心部の事務所や施設開発および不動産開発、先進製造研究所での協業への参画、NETM を通じた人材教育およびコースデザイン、ロジスティックス・ハブ・空輸インターフェイスへの参画に関心のある企業は是非、連絡または関心登録をしていただきたい。